

第1671回 2015.1.27

2014-2015

LIGHT UP ROTARY

半田南ロータリークラブ ●創立：1980.2.12 ●認証：1980.2.25

■会長／榊原 肇 ■幹事／岩部 雅人 ■例会／毎週火曜日 半田商工会議所
愛知県半田市銀座本町1の1(半田商工会議所内) TEL.(0569)21-0324 FAX.(0569)23-4546



- 司 会 S. A. A 杉山 知子君
- ソングリーダー 杉山 知子君
- ロータリーソング 「四つのテスト」
- 今月の歌 「一月一日」
- ピアノ 中田美由紀さん
- ビジター 朝倉 滉一君 (半田RC)

会長挨拶

会 長 榊原 肇君



本日のゲストスピーカーは、中部経済新聞知多支社長久川光行さんをお迎えし「中部経済新聞と地方創生」と題して卓話をしていただきます。昨年の7月からロータリーの話題をより多く皆さんに提供できるようにと中部経済新聞の定期購読を始めました。タイトルの示す通り愛知を中心とした東海4県の経済情報が充実していて、身近な企業の新製品などのニュースは購買意欲にもつながります。一番気になるロータリーの情報は、毎週月曜日に例会日よりして2760地区の全クラブの例会の内容が紹介され、RC・LCの紙面では地区内・地区外のニュースがいち早く掲載され今後の活動の参考になります。何よりうれしかったのは、半田南RCロータリーデーの記事を載せていただいたことでした。私にとっては大切な記念になっています。

インターネットから仕入れた最新情報です。1月18日(日)、米国サンディエゴで開催した国際協議会で、K. R. ラビンドラン国際ロータリー会長エレクトが、2015-16年度のテーマ「世界へのプレゼントになろう」を発表しました。

この日を「人生で最も大切なとき」と呼んだ会長エレクトは、次のように述べました。「ここにおられる皆さんは、多くを与えられた方々です。そして今、皆さんに最高のプレゼントが与えられようとしています。それは、授けられた才能と持ちうる力の限りを尽くして、“世界へのプレゼント”となることのできる1年です。(中略)

このために皆さんに与えられた時間は1年です。...この時間はあまりに短く、成すべきことはあまりに多くあります。(中略)次年度、信念、情熱、才能を捧げるだけでなく、皆さん自身を世界へのプレゼントとして捧げてください」と世界中のガバナーエレクトに対して述べられました。次年度もまた楽しい一年になりそうです。

幹事報告

幹事 岩部 雅人君

①東知多RC例会参加の件

●出席委員会

第1671回例会 1月27日(火) 天気(曇)

本日の例会は30名の出席にて、出席率は85.71%です。なお、前々回は6名のメーキャップにて91.14%に訂正します。

●Smiling Box

朝倉 滉一君 (半田RC) いつもお世話になります。出席が少なくして申し訳ありません。お弁当楽しみにしてお邪魔しました。よろしくお願ひします。

石川 勝彦君 間瀬君に電気自動車「日産のリーフ」をお借りして一日試乗しました。大変乗りごごちも良かったのですが、充電設備が課題として残りました。ありがとう。

榊原 肇君 中部経済新聞社知多支社長、久川光行さん、本日の卓話楽しみにしています。どうぞよろしくお願ひします。

早退します 都築 延男君

合計4名 6,000円

卓 話

担当 岩部 雅人君



スピーカー 中部経済新聞社 知多支社長 久川 光行氏
演 題「中部経済新聞と地方創生」

人口減を越えて 直言・私の処方箋

西栗倉・森の学校 牧大介 社長 (4)

地域で仕事をつくらなければ、人口減少は止められないと考えていたが、半分は解で半分間違っていた。例えばインターネットがつながれば個人で仕事ができ、生活環境のいい地方で子育てを考える人は増えている。しかし、すでに空き居住空間を提供するところがない。ネットは土地利用の規制だ。耕作放棄地はたくさんあるが、住宅地への転換が進まず。流動性もとても低い。流動する岡山県西栗倉村では雇用が増えているのに住居場所がない。社宅の建設も、人づてにやると手に入れないことが多い。農機が入りにくい小さな農地で、産地的な農業を成り立たせるのは難しい。しかし、自

土地利用の大胆な転換を 政治にできるか大手術

三和総合研究所(現三和FDリサーチ&コンサルティング)の牧大介社長として、林業中心に地域づくりに挑む。

給的な農業なら可能性はある。西栗倉村は、所有や面積を畑や住宅にして暮らすために、デジタルデータ化していた。それを使うことで農地はたくさんあるはず。住む場所として価値が高まれば、資産価値も上がる。農地転用が楽になれば、村の人口が100人くらいは増えると思う。

補助金は使えないくらいあるし、メニューはいろいろあるし、さうに増やしても何がかわるかわからない。補助金は使えないくらいあるし、メニューはいろいろあるし、さうに増やしても何がかわるかわからない。



西栗倉村は、所有や面積を畑や住宅にして暮らすために、デジタルデータ化していた。そのため約1,000人の山林所有者と交渉し、有効活用を目指し、有者との交渉、す取り組みが始まり、林業を中心とした村全体の売り上げ増加につなげた。だが、政治が手間のかかる大手術を考えた。床に敷く木製パネルなど製品の種類が増え、材木の不足は足りない。10年かかるとしては早すぎる。9割を村産材で賄えるようになる。最低5~10年のスパンでやらないと地域経済は変わらない。選挙という短期決戦に合わせ、つじつまを合わせないといけない。政治より、ビジネスの方が長期展望を描きながら地道にやってみよう。移行イベントがかわって、お、地方に目を向ける人が増えてきている。ただ、住みたい人やチャレンジしたい人を受け入れることができていない。可能ならばあるのに、掘り起こさないと人がいいやれることはない。まだままだまあると思う。

地元企業の動向記事を充実させます

12段化&全頁レイアウト刷新
文字も大きく、さらに読みやすく

10 人事異動・お悔やみを強化します。

4月紙面 大幅刷新 ポイント10 をご紹介します

中部経済新聞

地元企業のニュースを さらに報道します!



- 1 12段化&全頁レイアウト刷新
- 2 関係記事は地元ネタ
- 3 自動車の記事をウェブページに追加
- 4 総合面(2面)にて新企画「IT企業列伝」
- 5 名古屋圏にてこの新企画
- 6 尾張・三河・静岡・岐阜・三重 地方圏にてこの新企画がスタート
- 7 日替りのオリジナル企画を全ページ
- 8 地元企業人の活躍
- 9 地元が舞台の歴史小説、新連載がスタート
- 10 人事異動・お悔やみを強化します。

次回の例会
 第1673回例会 半田南RC創立35周年記念
 南佐久RC夜間合同例会
 2月10日(火) 於 三好屋旅館

